

発電用水・排水の管理

水の管理

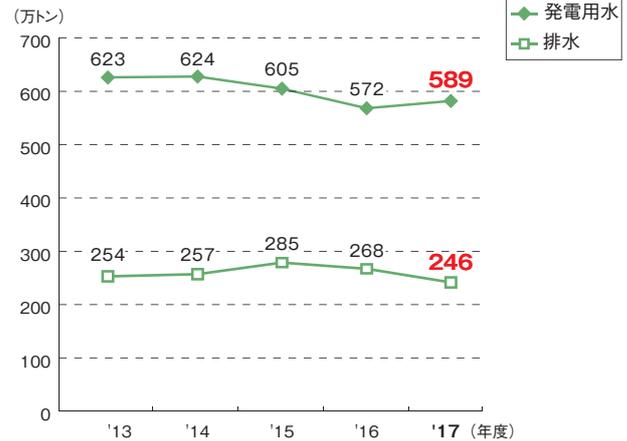
発電所で使用する工業用水は、水利権の範囲内で河川等から取水するとともに、発電所起動停止時や通常運転中の循環利用などにより、発電用水として新たに補給される水量の抑制に努めています。

■ 火力発電所・原子力発電所の発電用水使用量・排水量 (2017年度)

単位:万トン

発電所		発電用水※1	排水※2
火力	新小倉	30	14
	苅田	51	8
	豊前	21	14
	松浦	103	38
	相浦	10	6
	新大分	51	37
	荅北	205	62
原子力	玄海	52	29
	川内	39	30
計		589	246

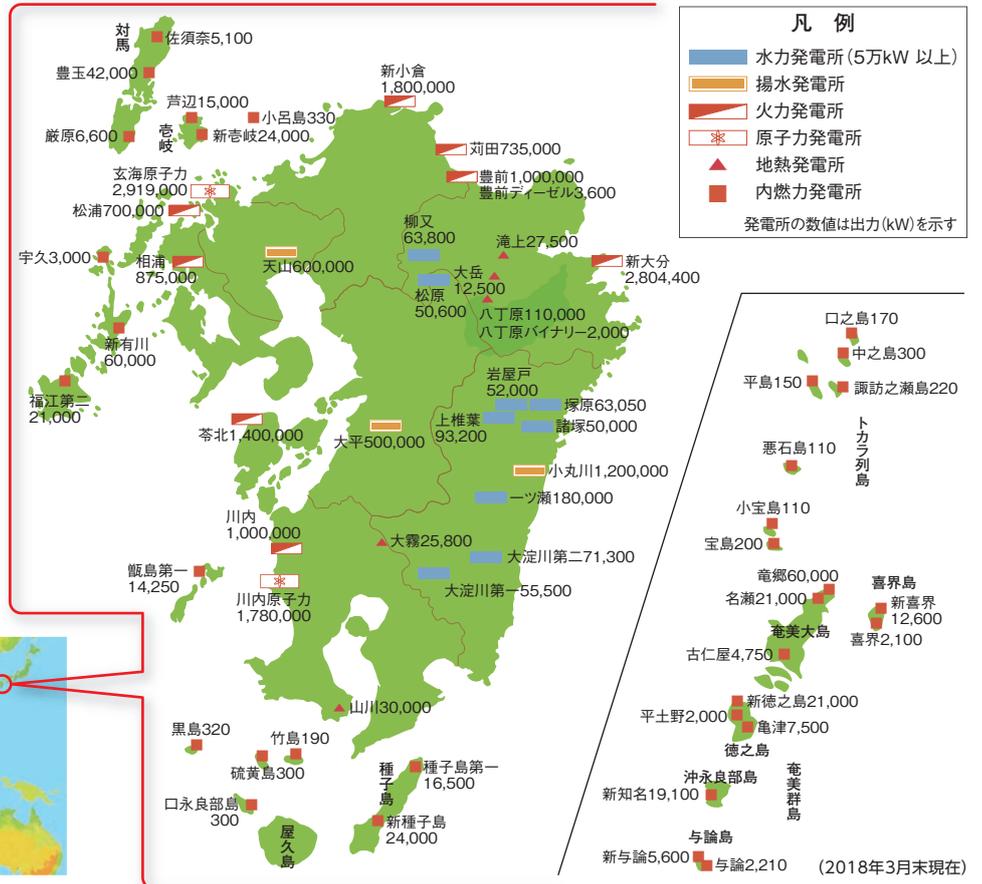
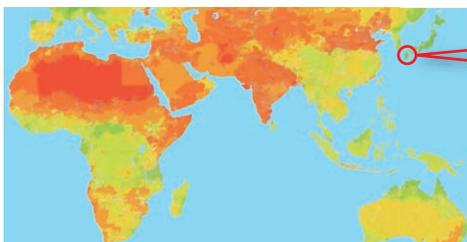
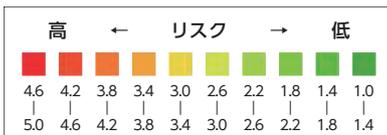
■ 火力発電所・原子力発電所の発電用水使用量・排水量の推移



※1:外部からの投入量(市水、井戸水等)から生活用水分を差し引いた使用量。冷却水に用いる海水や、発電所内で循環している水は含めない。
 ※2:各発電所における排水処理装置にて、適切に処理を実施した排水量。

水リスクの評価

世界自然保護基金(WWF)の水リスクフィルターによると、当社が淡水又は海水を利用する発電所を設置している九州地域内において、水不足が危惧される地域はありませんが、引き続き、発電用水及び排水の適正管理に努めていきます。



世界自然保護基金(WWF)ホームページ「水リスクフィルター」を基に当社で作成